

訳者の序

平成16年に出された厚生労働省「健康食品」に係る制度のあり方に関する検討会による「提言」においては、国民が健やかで心豊かな生活を送るためには、一人一人がバランスの取れた食生活を送ることが重要であるとともに、国民が日常の食生活で不足する栄養素を補給する食品や特定の保健の効果を有する食品を適切に利用することのできる環境整備を行うことが重要であるとされた。そのためには、国民が様々な食品の機能を十分に理解できるよう、正確で十分な情報提供が行われることが必要であり、健康食品等において表示できる内容を充実させることがその主要な柱の1つとされている。

一方、国内外を越え多種多様な健康食品が流通する現状において、消費者は個々の食品の特性を十分に理解し、自らの判断で食品を選択して適切に摂取することも求められている。しかしながら、健康食品等には科学的な信頼性に関して、その程度の高いものから低いあるいは無いものまで多くの製品が販売されている。健康に関する表示のされ方についても評価の判定についての規定などは明確でないものも多い。その結果、不必要な食品を購入することや誤った使用により、期待する健康状態が得られないことも危惧される。それゆえ、健康食品等の信頼性の証拠について、科学的根拠の特質に焦点を当て総合的なレベル評価を行い大枠の分類に役立つ資料が必要である。一般の消費者はもとより、健康被害をもたらすことのないよう、消費者に正しい情報を提供し、食品の選択が適切に行われるための支援者としてのアドバイザースタッフにとっては必須のものである。

アメリカで出版されているこの“Natural Medicines Comprehensive Database”データベースは専門家向けに、消費者等が適切に商品を選択できるようにするための1つの参考情報として、健康食品等に添加されている素材について現時点で得られている科学的根拠のある安全性・有効性の情報を集めたものである。このような状況の中で部分的ではあるがアドバイザースタッフにとっては有意義と考え日本語に翻訳した。

原書が、健康食品の素材の有効性、安全性、医薬品・他の健康食品との相互作用等を科学的根拠に基づいて、正確かつ公正に記述していることに、訳者達が非常な感動を覚え、翻訳を決意したのは2003年であった。当時の厚生労働省食品安全部基準審査課・新開発食品保健対策室と国立健康・栄養研究所事務部のみなさんは翻訳を激励し、強い支援をしてくださいました。訳者一同、心から感謝申し上げる次第です。

いつもながら、何とか出版にこぎつけるようお骨折りをいただいた第一出版編集部の諸氏に感謝申し上げます。

2007年2月

独立行政法人国立健康・栄養研究所

訳者代表 山田和彦, 梅垣敬三, 田中平三